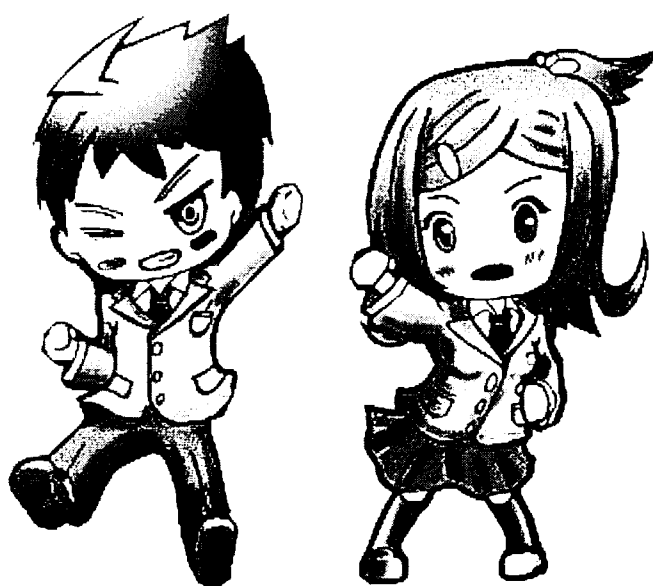
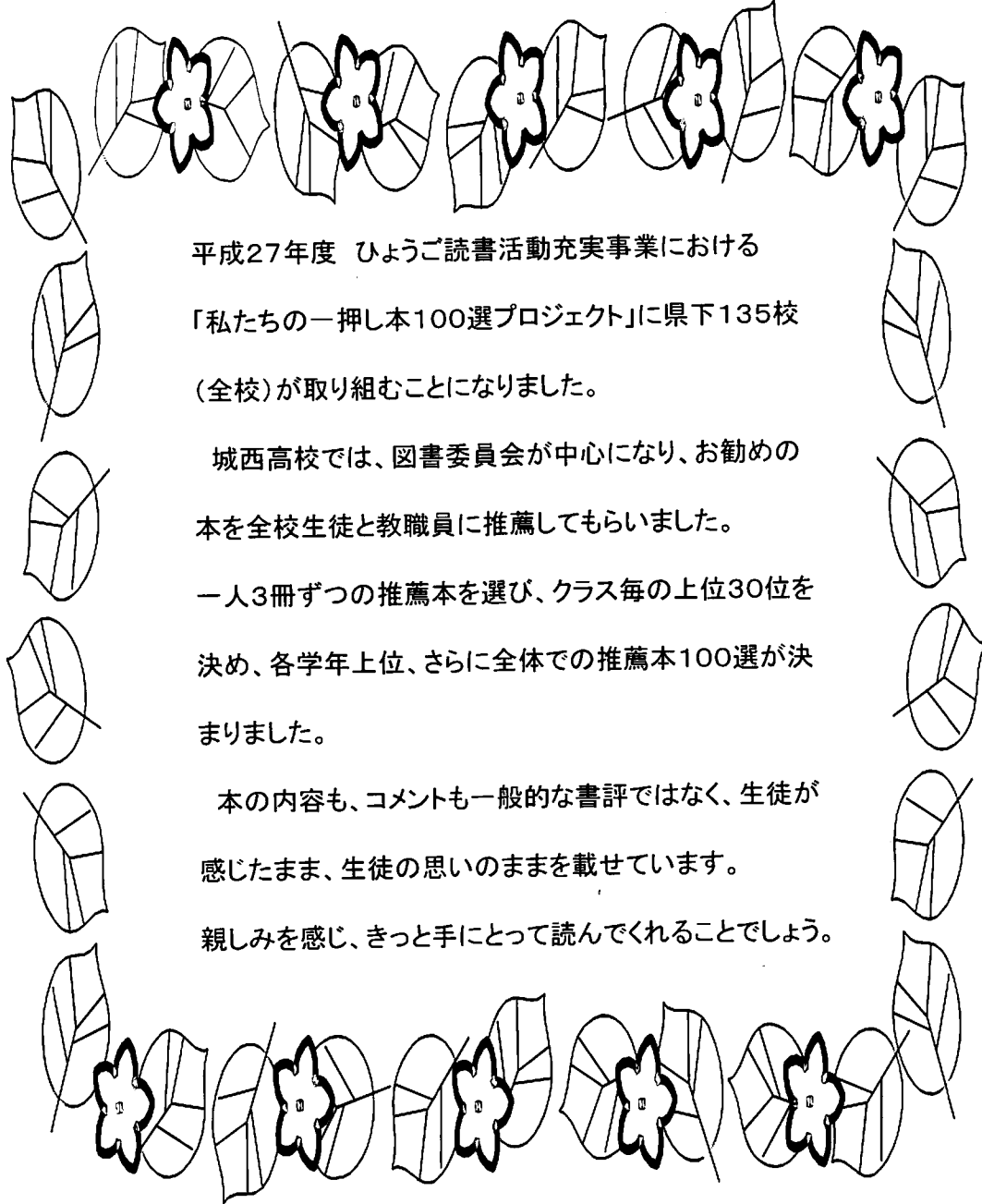


私たちの100選

2015年度



明石城西高校 一押し本



平成27年度 ひょうご読書活動充実事業における
「私たちの一押し本100選プロジェクト」に県下135校
(全校)が取り組むことになりました。

城西高校では、図書委員会が中心になり、お勧めの
本を全校生徒と教職員に推薦してもらいました。

一人3冊ずつの推薦本を選び、クラス毎の上位30位を
決め、各学年上位、さらに全体での推薦本100選が決
まりました。

本の内容も、コメントも一般的な書評ではなく、生徒が
感じたまま、生徒の思いのままを載せています。

親しみを感じ、きっと手にとって読んでくれることでしょう。

私たちの100選

明石城西高校

2015年度

1	挑戦・勇気	書名	学年ビリのギャルが1年で偏差値40上げて慶応大学に現役合格した話	著者	坪田信貴	出版社	角川書店	
		内容	偏差値30の金髪ギャルと一人の塾講師の出会いから始まる「ゼッタイ無理」に挑んだ一人の少女の物語					
		コメント	私もあきらめないで最後まで頑張り抜けるようにしたいと思います。また、こんな指導者と出会ってみたいです...					
2	ワクワク	書名	ハリー・ポッターシリーズ	著者	J.K.ローリング	出版社	静山社	
		内容	魔法界では有名な悪の魔法使いの遺児”ハリー・ポッター”。そのハリーが立派な魔法使いになるためのホグワーツでの物語					
		コメント	現実とはかけ離れた魔法の世界での様子は、起こること一つ一つにわくわくした心を持たせてくれる話だと思いました。					
3	戦争	書名	永遠の0	著者	百田尚樹	出版社	講談社	
		内容	戦争の時になくなった祖父にまつわる謎を現代の孫たちが解明していく。					
		コメント	だんだんと真相がわかっていき、読み終えたとき、全てが繋がりが感動して、すごく泣けた。					
4	命	書名	神様のカルテ	著者	夏川草介	出版社	小学館	
		内容	主人公の内科医が、患者と向き合っていく姿が書かれている。とても感動する話。					
		コメント	人間の生と死や、人間関係について深く考えさせられた。					
5	ワクワク	書名	告白	著者	湊かなえ	出版社	双葉書房	
		内容	わが子を校内で亡くした、中学校女性教諭によるホームルームでの告白からこの物語が始まる。					
		コメント	展開が早く、とてもワクワクする。					
6	ドキドキ	書名	図書館戦争	著者	有川浩	出版社	角川書店	
		内容	正化時代という未来で、本の表現の自由を守ろうとする図書館隊とその敵である良化隊の話					
		コメント	映画化、アニメ化、ドラマ化もされている作品です。本のために戦争する。自由の主張がとても斬新でかっこいい。「王子様」が誰なのか？にすごくドキドキしました。					
7	ドキドキ	書名	陽だまりの彼女	著者	越谷オサム	出版社	新潮社	
		内容	仕事の打ち合わせの時に十年ぶりに再会した幼馴染みと僕。かつて冴えないじめられっ子だったその幼馴染みは仕事がよくできる人に成長していた。でもその彼女には計り知れない秘密があっ—。					
		コメント	ただの恋愛小説かと思ったらファンタジー要素もあり、読み終わったあと、何とも言えない気持ちになり、読んで良かったと本当に思った。					

8	自分を見つめる	書名	カラフル	著者	森絵都	出版社	講談社
		内容	死んだ少年が他人として人生を一定期間やり直し、自分の死の原因を知る物語。				
		コメント	人はどんな辛いことがあっても生きなければいけないと思いました。小説嫌いな私がハマった唯一の本です。				
9	青春	書名	バッテリー	著者	あさのあつこ	出版社	角川つばさ
		内容	ピッチャーとして天才的能力をもつ原田巧は、転校先で出会った永倉豪とバッテリーを組む。野球、人間関係に全力投球する少年たちを描いた作品。				
		コメント	部活を頑張ろうと思いました。				
10	癒し系優しくなれる	書名	星の王子さま	著者	サン・デグジュペリ	出版社	文芸社
		内容	「僕」が単独飛行をしていたときにサハラ砂漠に不時着し、そこで出会う人々との物語。				
		コメント	目には見えないことを教えてくれる本、あたたかい物語				
11	笑って泣けて	書名	夢をかなえるゾウ	著者	水野敬也	出版社	飛鳥新社
		内容	ダメダメな僕のもとに現れたゾウの姿の関西弁で話す神様。その名はガネーシャ。そして色々な課題を出されて、ガネーシャが僕を成功へ導く！？物語。				
		コメント	ガネーシャの言葉は一見意味が無いと思えても、実はちゃんと意味があって、悩める高校生に是非読んでほしい。おもしろい話で読みやすく、実践したくなる。				
12	勇気・ワクワクドキ	書名	王様ゲーム	著者	金沢伸明	出版社	双葉書房
		内容	ある高校生たちのもとにメールが届き、その指令を破れば人が死んでいく。サバイバルホラー。				
		コメント	主人公の周りで辛いことがたくさんありますが、それでも状況を打破しようとする姿に感動します。				
13	ミステリー	書名	謎解きはディナーのあとで	著者	東川篤哉	出版社	小学館
		内容	宝生家の超お嬢様・宝生麗子は国立署に務める刑事である。数々の難事件に、彼女の執事・影山が見事な推理を披露する。				
		コメント	ただのミステリーではなく、執事の毒舌、風祭警部のユーモアさ、麗子のキャラクターなど楽しむ要素が満載で、ミステリーを読んだことがない方にもお勧めです。				
14	謎	書名	イニシエーションラブ	著者	乾くるみ	出版社	文藝春秋
		内容	普通のラブストーリーかと思っていたら隠された謎に気づけません。				
		コメント	本当に気づけなくて何回も読みました。				

15	泣ける	書名	スイッチを押すとき	著者	山田悠介	出版社	角川書店	
		内容	青少年自殺抑制プロジェクトセンターでは、四人の少年少女に、自らの命を絶つ「赤いスイッチ」を持たせ、実験をしていた。極限状態で軟禁され、孤独に耐えられず次々と命を絶つはずが、四人は七年間もスイッチを押さないという異例の子供だった。脱出を図るが、そこには非情な運命が…。					
		コメント	話がリアル。心情が細かく表現されていて、最後のオチがすごく良く涙が止まりません。					
16	癒し系・ほのぼの	書名	阪急電車	著者	有川浩	出版社	幻冬舎	
		内容	オムニバス形式の短編小説集で、駅名が作品のタイトルになっている。前の作品の主人公が次の作品の脇役として登場したり、各作品はそれぞれ枠組を超えてつながっている。					
		コメント	実際に存在する「阪急電車」を舞台にして、様々な人とのつながりを感じられる作品です。					
17	怖い	書名	悪の教典	著者	貴志祐介	出版社	文藝春秋	
		内容	生徒、教師からとても信頼の厚いはずみ先生の周りで起こる不可解な死。その死に気づいたものは全員殺されていく。					
		コメント	とても怖い話だけどハマってしまう作品です。					
18	ファンタジーノベル	書名	獣の奏者	著者	上橋菜穂子	出版社	講談社	
		内容	獣ノ医術師の母と暮らすエリンだが、村で飼っていたすべての<牙>が突然死んでしまい母は責任を問われ処刑されてしまう。その後、蜂飼いのジョウンに助けられ山奥で天空を翔る野生の王獣と出会う。					
		コメント	不思議な世界観があって、読み進めていくにつれて、どんどん本の世界に引き込まれます。					
19	ほんわか	書名	さがしもの	著者	角田光成	出版社	新潮社	
		内容	病をかかえた祖母が、その本を見つけるまでは死にきれないと言う。頼まれた一冊を求め奔走する少女と自分が重なるようなことばの魔法が、私たちの人生も動かし始める。					
		コメント	「聞くだけで何処へでも連れてってくれるものなんか本しかないだろう」というおばあちゃんの話聞いて、読書の楽しさはここだと知った。					
20	癒し系	書名	植物図鑑	著者	有川浩	出版社	幻冬舎	
		内容	主人公のさやかが、家の前で倒れかけの男の人を拾い一緒に暮らすことになる。2人は恋人になり、休日になると、いろいろな食べられる植物をとりに行く狩りに出かける。					
		コメント	読み始めからすごく惹かれた、読みやすく、出てくる植物も個性的だったりする。すごくキュンキュンして最後には泣ける。「なるほどなるほど」と植物についての知識も知ることができる					
21	感動	書名	ツナグ	著者	辻村深月	出版社	新潮社	
		内容	一生に一度だけ死者と再会する話。					
		コメント	その人にはその人の大切な人がいるということがどれだけ大切かがわかる本です。死者と会える時間は少しですが、その間に行われる死者との最後の時間に感動しました。					

22	生きる意味	書名	人間失格	著者	太宰治	出版社	新潮社
		内容	太宰治が自殺の一ヶ月前に書き上げた彼の集大成。青年が語る「恥の多い生涯」とは？				
		コメント	自信を失ったことが自分にもあるので、本の中の主人公がどう自信を取り戻したのか知りたい。				
23	ミステリー	書名	プラチナデータ	著者	東野圭吾	出版社	幻冬舎
		内容	DNA捜査システムの開発者が殺害され、その犯人システムを使ってつきとめようとする主人公だが、システムが示した犯人は主人公だった…。主人公が警察の包囲網をかわし、真相を解き明かしていくミステリー小説。				
		コメント	二重人格である主人公の真反対の二つの顔を見るのが面白かった。システムに隠された陰謀にはとても驚きました。刑事ものが好きな人におすすめ				
24	心温まる	書名	レインツリーの国	著者	有川浩	出版社	新潮社
		内容	障害者の女の子とその子に恋した男の子の恋の話です。				
		コメント	一人の男性と聴覚に問題をかかえる女性の話で、そういう人たちがどういうことで悩み困っているかがわかります。				
25	泣ける	書名	アルジャーノンに花束を	著者	ダニーエルキイス	出版社	早川書房
		内容	知的障害をもつ男の物語。平和に働いていた彼のもとに知能を向上させる手術のチャンスが舞い込んできて、人が変わってしまう…。				
		コメント	頭が良すぎたら嫉妬され、悪すぎたらバカにされる、そんな人間の様子をひしひしとを感じる事ができた。とても泣ける感動の話。				
26	ワクワク	書名	少女	著者	湊かなえ	出版社	双葉書房
		内容	親友の自殺を目撃したことがあるという転校生の告白を聞いて死の瞬間を見たいと思った二人の高校生。それぞれ死の瞬間に立ち会うために行動していく。高校二年の少女たちの衝撃的な夏休みを描く長編ミステリー。				
		コメント	お互いに別の目的で同じことを体験しようと思い、行動していく2人の少女の物語が最後にほんの一瞬だけ二人が同じ時間を共有し、またそれぞれの道を進んでいきます。話の見せ方がとてもすばらしく読んでいてわくわくするストーリーです。				
27	ワクワク・ときどき	書名	ストロボ・エッジ	著者	阿部暁子	出版社	集英社
		内容	遠い存在だった人との奇跡の出会いがあり…人生が変わっていく。				
		コメント	あきらめない事は大切だと感じた。				
28	ハラハラドキドキ	書名	ダレンシャン	著者	ダレン・シャン	出版社	小学館
		内容	主人公ダレン・シャンが仲間とともに成長するファンタジーな物語。				
		コメント	ダレンシャンがとてもカッコ良かった。				

29	青春・メッセージ	書名	西の魔女が死んだ	著者	梨木香歩	出版社	新潮社	
		内容	中学に進んで間もなく、どうしても学校へ足が向かなくなった少女が、季節が初夏へと変わるひと月余りを、西の魔女のもとで過ごします。					
		コメント	何でも自分で決めることが大切だということを、改めて感じる事が出来る作品です。					
30	せつない	書名	博士が愛した数式	著者	小川洋子	出版社	新潮社	
		内容	「ぼくの記憶は、80分しかもたない」そんな博士と、家政婦の共同生活。あまりにも切なく暖かい奇跡の愛の物語。					
		コメント	本の中に幾つかの数式も出てきますが、説明も詳しく、読むのが苦にならない一冊です。					
31	推理	書名	氷菓	著者	米澤穂信	出版社	角川文庫	
		内容	何事にも積極的に関わろうとしない省エネ少年・折木奉太郎は、なりゆきで入部した古典部の仲間に依頼され、日常に潜む不思議な謎を次々と解き明かしていくことに…。					
		コメント	推理小説ですが、殺人事件は起こりません。主人公や他の登場人物たちの独特な考え方にも注目です。					
32	決意	書名	ようこそ我が家へ	著者	池井戸潤	出版社	小学館	
		内容	駅のホームで注意をした男性からストーカー被害に遭う物語。					
		コメント	エスカレートしていくストーカーに対してどのような策をたてていくのかが楽しみながら読めました。					
33	青春の思い出	書名	夜のピクニック	著者	恩田陸	出版社	新潮社	
		内容	高校生活最後の「歩行祭」というイベントに主人公がある思いを秘めて挑む話。					
		コメント	最後までやり遂げることが大切だとわかった。					
34	エゴイズム	書名	羅生門	著者	芥川龍之介	出版社	東京書籍	
		内容	下人が飢え死にするか、盗人になるか悩んでいたが老婆に出会って心が変わる。羅生門の上で繰り広げる物語					
		コメント	主人公の心の移り変わりがおもしろい。					
35	怖い	書名	DUST	著者	山田悠介	出版社	幻冬舎	
		内容	国はニートと呼ばれる若者を世の中のごみとして流罪にする法律を作る。刑期は500日。その中で生まれるさまざまな出来事が描かれている。					
		コメント	現代ととても近いと思いました、ニートと呼ばれる人も増えてると思います、そのような事を考えるとこの本は少し怖いと思いました、読み応えがありました。					

36	ウキウキ	書名	赤毛のアン	著者	モンゴメリ	出版社	講談社	
		内容	孤児院で育ったアンが、おじいさん、おばあさんに引きとられ、たくさんの友達と自然の中で、すくすくと育っていく物語。					
		コメント	何事にも興味津々で明るく前向きなアンが大好きです。					
37	衝撃	書名	アバター	著者	山田悠介	出版社	角川書店	
		内容	クラスを仕切っている女王様から強制的にSNSサイト"アバQ"に登録させられた道子だったが、その日から日常が一変！やがて道子は学校の女王として君臨し、自らサークルを立ち上げ、アバターで日本を支配しようとし始めるが…？					
		コメント	たかがSNSサイトでこんなにも人権、生活がかわってしまうなんて…。と衝撃を受けました。					
38	心癒す	書名	思い出のとき修理します	著者	谷瑞枝	出版社	集英社	
		内容	引っ越し先の、子供の頃に少しだけ過ごした思い出の商店街で奇妙なプレートを飾った店を見つける。そして主人公は不思議な事件に巻き込まれていくうちに…。					
		コメント	短編集なので読みやすいです！続きが気になります！					
39	青春	書名	風が強く吹いている	著者	三浦しをん	出版社	新潮社	
		内容	箱根駅伝を走りたい灰二が天才ランナー一と出会って動き出す…					
		コメント	「走るってどういうことなのか。」と教えさせられます…					
40	青春	書名	キケン	著者	有川浩	出版社	新潮社	
		内容	「キケン」という部活の部員たちが巻き起こす青春ドタバタコメディ。					
		コメント	大学生たちのドタバタ日常をととても楽しく読むことができる。					
41	友だち	書名	きみの友だち	著者	重松清	出版社	新潮社	
		内容	私は「みんな」を信じない。だからあなたと一緒にいる。それぞれの物語にちりばめられた「ともだち」のほんとうの意味を探す連作長編。					
		コメント	改めて「友達」の本当の意味がわかる良い話です。					
42	力が湧く	書名	県庁おもてなし課	著者	有川浩	出版社	角川書店	
		内容	高知県庁観光部に新しく「おもてなし課」が発足。復興企画の一環として地元出身の人気作家に観光特便就任を打診するも…。					
		コメント	若手の掛水がおもてなし課に配属されて、いろいろな難問にぶつかりながらも頑張る姿がかっこ良かった。					

43	ゲームの世界	書名	サマーウォーズ	著者	岩井恭平(細田守)	出版社	角川書店	
		内容	オンラインゲームの中から現実世界が壊れるのを防ぐストーリー...					
		コメント	映画にもなっており、誰もが知っている名作で、映画も良いけど小説も一度で良いから読んでもらいたい一冊です...					
44	正義の味方	書名	三匹のおっさん	著者	有川浩	出版社	角川書店	
		内容	60歳を過ぎた三匹のおっさんたちが町でおこる犯罪を防ぐために戦います。					
		コメント	おっさんたちが若者に負けないくらいの元気で町を守ります。おっさんたちの心情が面白かったです。					
45	勇気	書名	鹿の王	著者	上橋菜穂子	出版社	角川書店	
		内容	戦士だったが奴隷に落とされたヴァンと、謎の病に立ち向かう医者ホッサル。自然、政治、医療、人間など色々なことを描いた物語。					
		コメント	とても壮大なストーリーでキャラクター一人ひとりもとても魅力的です。医療の事も学べます。賞を受賞している本なので読んでみたかった。ラストに限りない可能性を読者に託してくれる、贈り物のような物語。					
46	勇気百倍	書名	天地明察	著者	沖方丁	出版社	角川書店	
		内容	暮打ち数学者である渋川春海が、日本独自の暦を作る話。					
		コメント	専用用語がたくさん出てきて、私には難しかったけど、とても面白かった。					
47	ゾクゾク	書名	夏と花火と私の死体	著者	乙一	出版社	集英社	
		内容	些細なことで親友に殺された私。死体を隠そうと苦闘する友達の姿を死体となった“私”が淡々と語る。					
		コメント	作者が17歳の時に書かれた話です。子供の無邪気さが逆に恐怖心をそそります。					
48	深い謎	書名	ビブリア古書堂の事件手帖	著者	三上延	出版社	メディアワークス	
		内容	様々な事情で店に持ち込まれる古書とその本にまつわる事件を、店長の女とアルバイトの男二人で解決していく。					
		コメント	店長の女の古書の知識がすごすぎて、読んでいて本や有名な著者についての勉強になります。ぜひ読んで下さい。					
49	勇気・ワクワクドキドキ	書名	ブレイブ・ストーリー	著者	宮部みゆき	出版社	角川書店	
		内容	三谷亘は小学5年生。ある幽霊がでるとうわさのビルで要御扉に入ると現実とはちがう不思議な世界が広がっていた。自分の運命を変える戦いが始まる。					
		コメント	とても長い話ですが、何度読み返しても読みごたえたっぷりです。幻界の描写もとても素敵でどんどん引き込まれていきます。					

50	ミステリー	書名	マスカレード・ホテル	著者	東野圭吾	出版社	集英社
		内容	都内で起きた不可解な連続殺人事件。容疑者もターゲットも不明。新田浩介と山岸尚美は真相に辿りつけるのか？				
		コメント	先が気になるとても面白い本だと思う。				
51	家族	書名	夜行観覧車	著者	湊かなえ	出版社	双葉書房
		内容	ある高級住宅街で殺人事件が起こった。残された子どもたちはどう生きていくのか。犯人は誰なのか。				
		コメント	色々な人物視点で書かれているため複雑な感情が込み上げてくる。				
52	感動	書名	100回泣くこと	著者	中村航	出版社	小学館
		内容	愛犬、ブックが死にそうだった…が、なんとか一命をとりとめた、そしてプロポーズに成功。幸せが続くはずだった。しかし彼女の佳美ががんに…。				
		コメント	佳美を支える藤井の姿にとても感動した。				
53	せつない	書名	Nのために	著者	湊かなえ	出版社	双葉書房
		内容	超高層マンション「スカイローズガーデン」の一室で、そこに住む野口夫妻の変死体が発見された。現場に居合わせたのは、20代の4人の男女。それぞれの証言は驚くべき真実を明らかにしていく…。				
		コメント	人との関わりとか深いものがあつた。				
54	すごい	書名	SPEC	著者	豊田美加	出版社	角川書店
		内容	奇妙な女性捜査官・当麻と敏腕刑事・瀬文が特殊能力「SPEC」を持つ犯罪者に立ち向かう。				
		コメント	不思議な犯罪が数多く起こるのでとても面白いです				
55	推理力	書名	ST警視庁科学捜査班エピソード1	著者	今野敏	出版社	講談社
		内容	玄界灘の孤島で起きた不可解水死時事件、現地へ向かったST。だがその孤島は警察といえども上陸すら許さない、厳粛な掟がSTのチームを阻む。操作実行不可能か…？！				
		コメント	読んでいる自分も推理しながら解きながら本を読むことができ面白い。				
56	平和	書名	アンネの日記	著者	アンネフランク	出版社	文藝春秋文庫
		内容	アンネ・フランクは裕福なドイツ系ユダヤ人家族の二女として生まれる。迫害を逃れ、隠れ家生活を送るが密告によって連行され、強制収容所で労働させられたりし、そこで生涯を終えた…。				
		コメント	人間は皆平等に扱われるべきなのにユダヤ人だからといって、奴隷のように扱われていて、今ももしかしたら、そんな人がいるかもしれない。そう思うと私はこの日本に生まれてきて幸せだと思う。世界で二度とこんなことが起きない事を祈りたい。				

57	青春	書名	一瞬の風になれ	著者	佐藤多佳子	出版社	講談社
		内容	主人公が高校三年間陸上部として泣いたり、笑ったり、喜んだり。いろんな出来事のその一瞬一瞬に青春を感じる話。				
		コメント	青春していると思います。				
58	切なく・泣ける	書名	いま、会いにゆきます	著者	市川拓司	出版社	小学館
		内容	最愛の妻を亡くしてしまった夫とその息子に、ある雨の季節に奇跡がおとずれる。				
		コメント	悲しくて、でも心が温かくなるようなストーリーでとてもよかったです。				
59	ゲーム	書名	インシテミル	著者	米澤穂信	出版社	文藝春秋
		内容	高額時給につられて集まった12人の男女。彼らを待っていたのは殺人をけしかける犯人当てゲームだった				
		コメント	おススメです。				
60	ドキドキハラハラ	書名	海の底	著者	有川浩	出版社	角川書店
		内容	謎の生物が突然現れ、自衛官2人と子供たちが潜水艦に取り残されてから脱出までの物語				
		コメント	主人公が海自で自衛隊の話なのに、とても読みやすくおススメです				
61	爽快	書名	オー！ファザー	著者	伊坂幸太郎	出版社	新潮社
		内容	ギャンブル好き、女好き、博学卓識、スポーツ万能の四人の父をもつ高校生「由紀夫」の周りでおこるさまざま事件を四人の父とともに説き明かすミステリーコメディ小説。				
		コメント	全ての事件が解き明かされる時の爽快感がたまらない。				
62	ほっこり	書名	おおかみこどもの雨と雪	著者	細田守	出版社	角川書店
		内容	大学生の花が恋した男は狼人間だった。彼との子を授かった花は彼の死後子供たちを守るために田舎の山奥に移り住む。そこで子供たちは決断を迫られる。人間と生きるか、狼として生きるか。				
		コメント	主人公の花の暖かさ子供である、雨と雪の絆。まわりの人々の優しさなど読んでほっこりする作品です				
63	謎解き	書名	ガリレオの苦悩	著者	東野圭吾	出版社	文藝春秋
		内容	一人の物理学者が殺人事件を解く				
		コメント	主人公のキャラが面白い、謎解きがとても面白い				

64	思 春 期	書名	ホットロード	著者	紡木 たく	出版社	集英社	
		内容	親からの無償の愛を感じられず、何をすればよいかもわからないまま日々を過ごす主人公の、熱く、胸苦しい思春期を描き切るラブストーリー					
		コメント	内容が恋愛だけじゃなくて、家族の再生や友情が描かれていてとても良い					
65	感 動	書名	くちびるに歌を	著者	中田 永一	出版社	小学館	
		内容	色々な過去を抱える新任の先生と、離島の生徒が奏でる合唱が作り出す物語					
		コメント	涙が出るほど感動します。					
66	共 感	書名	サッカーボーイズ再開のグラウンド	著者	はらだみずき	出版社	角川つばさ	
		内容	小学校6年生の少年チームと共に戦っていく、輝きを失っていく選手。強豪チームから移籍してきた転校生。個性豊かなチームメイトたち。…そして、新たに加わった謎の新任コーチ。桜の咲く春から、再び桜が芽吹く春までのサッカークラブの子どもたちとコーチ、その家族たちの物語。					
		コメント	自分とも共感できる場所があって面白かった。					
67	泣 け る	書名	塩の街	著者	有川 浩	出版社	角川書店	
		内容	塩が世界を埋め尽くす、塩害の時代。崩壊寸前の東京で暮らす秋庭と真奈の前にはさまざまな人が現れては、塩害によって消えていく。					
		コメント	図書館戦争を先に読んでいて、またベタ甘な恋愛ものかと思っていたが泣けてくる話だった。					
68	夢	書名	下町ロケット	著者	池井戸 潤	出版社	小学館	
		内容	会社を辞め、実家の工場を継いで起死回生する物語					
		コメント	諦めず夢を追いかけているのすごいなと思った。					
69	冒 険	書名	ステップファザー・ステップ	著者	宮部みゆき	出版社	講談社	
		内容	中学生の双子の兄弟の家に落ちこちてきたのは、なんとプロの泥棒だった。そして一緒に暮らし始めた3人、次々と起こる7つの事件に、ユーモアあふれる3人で解決していく。					
		コメント	いきなり知らない人と暮らすのがすごいと思いました。					
70	問 い か け	書名	海と毒薬	著者	遠藤周作	出版社	講談社	
		内容	生きたままの人間を解剖する—戦争末期、九州大学附属病院で実際に起こった米軍舗虜に対する残虐行為に参加したのは、医学部助手の小心な青年だった。彼に人間としての良心はなかったのか？神を持たない日本人にとっての“罪の意識”“倫理”とはなにかを根源的に問いかける不朽の長編。					
		コメント	夏休みの読書感想文のために、中学校の時に読みました。難しい内容だったけど、最後までページをめくる手が止まりませんでした。					

71	家族・泣ける	書名	手紙	著者	東野圭吾	出版社	文藝春秋
		内容	強盗殺人で服役中の兄、剛志を持つ弟、直貴。犯罪加害者の家族を真正面から描き感動をよんだ不朽の名作				
		コメント	普段よく耳にする殺人事件などの容疑者の周りの人たちの心がよく感じ作品で、とても胸が熱くなります。られる				
72	夢	書名	天神	著者	小森陽一	出版社	集英社
		内容	空を駆ける若者たちの挫折と栄光、パイロットを目指す訓練生の話				
		コメント	パイロットはカッコいいなあと思った、自分も夢を持ちたいと思った				
73	初恋	書名	夏のバスプール	著者	畑野智美	出版社	集英社
		内容	最初どうしてトマトが飛んできたのか不思議でした高一の涼太は、期末試験の朝、女の子に畑のトマトをぶつけられて遅刻する。仙台からの転校生で複雑な事情を抱えていそうな彼女・久野ちゃんが気になる涼太だが…。				
		コメント	青春初恋物語、胸キュンキュン				
74	恋愛	書名	ノーブルチルドレンの残酷	著者	綾崎隼	出版社	メディアワークス
		内容	一つだけ空いた部室の奪い合いを発端に、奇妙な推理勝負が行われることになってしまう。反目の果てに始まった交流は、やがて二人の心を穏やかに紐解いていくことになるのだが…。ポップなミステリーで彩られた、現代のロミオとジュリエットに舞い降りる、美しくも儂き愛の物語。				
		コメント	出てくる人物が多くて、何回も読み返さないと話がわからないけど、とても面白い恋愛物語。				
75	ドキドキ	書名	パズル	著者	山田悠介	出版社	角川書店
		内容	ある学校で先生が人質になり、その先生を助けるため2000ピースものパズルを48時間以内に完成させなければいけない				
		コメント	恐怖と、ミステリーが交ざった先が見えない話にドキドキする				
76	絆	書名	白夜行	著者	東野圭吾	出版社	集英社
		内容	殺人事件などのミステリーですが、不思議と絆や愛情を感じられる話です				
		コメント	800ページくらいありますが世界に引き込まれて、あっという間によんでしまいます。				
77	ものづくり	書名	舟を編む	著者	三浦しをん	出版社	光文社
		内容	新しい辞書『大渡海』を編む仲間として。定年間近のベテラン編集者、日本語研究に人生を捧げる老学者、徐々に辞書に愛情を持ち始めるチャラ男、そして出会った運命の女性。個性的な面々の中で、辞書の世界に没頭する。言葉という絆を得て、彼らの人生が優しく編み上げられていく。しかし、問題が山積みの辞書編				
		コメント	主人公がどんどん輝いて行く姿が素敵です。生きがいを見つけるって素晴らしいと思いました。				

78	家族・痛快	書名	フライ、ダディ、フライ	著者	金城一紀	出版社	講談社
		内容	平凡なサラリーマンが家族のために頑張る話。				
		コメント	読んだら自分も頑張ろうと思える。				
79	家族	書名	変身	著者	カフカ、フランツ	出版社	新潮社
		内容	主人公はある日、目覚めると虫に変身していた。レポートのように書かれた海外文学最高傑作のひとつ。				
		コメント	今までの本とは少し異なった文体がとても面白かった。主人公がただただ可哀そうだった。本当の家族とは何か知ることができました				
80	共感	書名	僕は勉強ができない	著者	山田詠美	出版社	新潮社
		内容	女性にもてる、しかし成績の悪い17歳の男子高生、時田くんがどこか居心地の悪い学校の窮屈さに葛藤しながら送る高校生活。				
		コメント	主人公の年齢が自分たちにとっても近くて、高校生の気持ちに共感できたり、学ぶことができる面白い本だと思う				
81	痛快	書名	ぼくらの七日間戦争	著者	宗田理	出版社	角川書店
		内容	明日から夏休みという日に主人公と同じクラスの男子が全員姿を消した。彼らは廃工場に立てこもり、大人たちへの半反乱を起こしたのだ。だけど誘拐事件が起こり…。息もつかせぬ大傑作エンターテインメント。				
		コメント	みんなで一致団結して一つの事をやりとげようと中学生とは思えないことを考えるのが凄いです。				
82	メルヘン	書名	魔女の宅急便	著者	角野栄子	出版社	角川書店
		内容	落ち込んだり、励まされたりしながら、町にとけこみ、健やかに成長していく少女キキの様子を描いた不朽の名作。				
		コメント	とても読みやすい本なので、本を読むのが嫌いな人は特に読んでもらいたいです。				
83	ミステリー	書名	真夏の方程式	著者	東野圭吾	出版社	文藝春秋
		内容	親戚の旅館で過ごすことになった小学校5年生の少年は、偶然湯川という男と出会う。湯川はその旅館に泊まるのだが、泊まっていた客が変死体となっていた。				
		コメント	映画化もされた作品ですが、映画にないシーンや一つ一つの動作が細かく書かれていて映画にない魅力があります。とても気に入っています				
84	絆	書名	真夜中のパン屋さん	著者	大沼紀子	出版社	ポプラ社
		内容	夜中に開かれる不思議なパン屋さんに居候することになった希実が様々な事件に巻き込まれていく、人間関係の複雑さが書かれている物語				
		コメント	登場人物の心情が描かれていてとても面白かった=				

85	ミステリー	書名	三日間の幸福	著者	三秋縊	出版社	アスキー・メディアワークス	
		内容	未来を悲観して寿命の大半を売り払った俺は、残りの余生で幸せを掴もうとするが、何をやっても裏目に出る。醒めた目で見つめる「監視員」のミヤギ。彼女の為に生きることが一番の幸せと気付く頃には、寿命は二カ月を切っていた					
		コメント	主人公はくだらない人生を売り、「監視員」のミヤギと日々を過ごし、大切なものと出会い、人との触れ合いの中で人生の重さや、大切さを知り、愛する人の為に最後の行動をとる。最後の最後は感動でいっぱいになった					
86	ホラー	書名	モニタールーム	著者	山田悠介	出版社	角川書店	
		内容	とある事情で金に困った徳井雅也は給料100万円に魅力を感じて新しい職につく、それはモニターで、とある場所を一日観察することだった…。					
		コメント	一見楽そうに見えるこの仕事。ただモニターにうつしだされるものはとても残酷なものだった…。					
87	人間の幸せ	書名	モンスター	著者	百田尚樹	出版社	幻冬舎文庫	
		内容	田舎町でレストランを経営する絶世の美女。かつて彼女の顔はとても酷いものだった。周囲からバケモノ扱いされる悲惨な日々…。思い悩んだ末にある事件を起こし、町を追われた彼女は整形手術に目覚め、莫大な金額をかけ完璧な美女に変身を遂げる。そのとき亡霊のように甦ってきたのはひとりの男への、情念だった…。					
		コメント	整形手術で人生を変えようとしているひとりの女性。過去の話を変えながら進んでいくストーリー。果たして整形手術で人生を変えることはできるのか。					
88	青春・感動	書名	野球ノートに書いた甲子園	著者	高校野球ドットコム編集部	出版社	kkベストセラーズ	
		内容	全国各地の高校野球部を訪問する中で、球児が書く野球ノートに出会うときがあり、本人しか感じることでできない感情や思いが書きつづられ、もう二度と歩むことのできない時間を振り返った言葉がつづられている					
		コメント	高校野球が好きでこの本を買ったが、見ている側に与えてくれているものがたくさんありました。とても感動する本です。					
89	家族	書名	八日目の蟬	著者	角田光代	出版社	中央公論新社	
		内容	逃げて逃げて逃げのびた私はあなたの母親になれるだろうか。理性をゆるがす愛があり罪をそぐ光があった。					
		コメント	誰が悪いのか、何が間違っているのか、悩まされた。誘拐という罪な行動はしているけれど、そこには愛があった、子供に対する愛情を感じた。					
90	知る学ぶ	書名	女性の品格	著者	坂東眞理子	出版社	PHP研究所	
		内容	ビジネスから装い、話し方、恋愛に至るまで、女性としての振舞い方や生き方について語った一冊					
		コメント	今時「礼状が書ける」「作法をきちんと理解している」女性が少ない中、古き良き日本の大和撫子に目を向けていて、読むだけで自分の品位が高まったように感じます					
91	知る学ぶ	書名	聞く力	著者	阿川佐和子	出版社	文芸春秋	
		内容	話を聞く時の35個のヒントがある					
		コメント	読みやすくて解かり易かった					

92	知る学ぶ	書名	文藝春秋オピニオン2015年の論点100	著者		出版社	文藝春秋	
		内容	日本や世界で話題になった出来事に対して、100人の著名人が論じている					
		コメント	小論対策に絶対必要					
93	理解	書名	数学ガールの秘密ノート	著者	結城 浩	出版社	SBクリエイティブ	
		内容	僕と3人の少女が数学トークを繰り広げる物語					
		コメント	整数・丸い三角関数・微分積分・グラフなどシリーズで別れていて、僕(先生)が少女の疑問に解説してくれる、数学でつまづく前に読んでみる価値あり					
94	記録	書名	アジアに浸る	著者	高木のぶ子	出版社	文藝春秋	
		内容	世界で一番ホットな場所。作家の眼差しに写ったものは!? 急激な経済発展とともに大きな変貌を遂げつつあるアジアの国々。変革から取り残されがちな女性や子供たちの身になにがおこっているのか。五年の歳月をかけ十カ国を巡ったプロジェクトSIAの記録。					
		コメント	修学旅行もあることだし、アジアに親しんで下さい					
95	旅	書名	物語 シンガポールの歴史	著者	岩崎育夫	出版社	中央公論新社	
		内容	一人当たりのGDPで日本を抜きアジアで最も豊かな国とされるシンガポール。表現・言論の自由を抑圧し、徹底的な能力別教育を行うなど、経済至上主義を貫いた“成果”、英国植民地時代から、日本占領、そして独立し現在に至る二〇〇年の軌跡を描く。					
		コメント	修学旅行にも訪れるのでシンガポールの歴史にも興味を持つとう。					
96	知る学ぶ	書名	英語対訳で読む 日本の世界遺産	著者	ブルーガイド編集部	出版社	実業之日本社	
		内容	屋久島を、日光を、軍艦島を、英語で説明するとうなります! 簡単な英語だけで、世界遺産が頭に入ってくる!					
		コメント	簡単な英語だけで、世界遺産が頭に入ってくる					
97	知る学ぶ	書名	英語対訳で読む 算数・数学入門	著者	ブルーガイド編集部	出版社	実業之日本社	
		内容	知ったら驚く? $+$ $-$ \times \div を英語ではどう表現する!					
		コメント	『英語脳』と『算数アタマ』を同時に磨ける本。					
98	学ぶ	書名	TEDトーク 世界最高のプレゼン術	著者	ジェレミー・ドノバン	出版社	新潮社	
		内容	世界の著名人が最上級のプレゼンを披露する注目のイベント「TED」。なかでも人気のスピーチを徹底解析。ビジネスシーンやさまざまな会合のスピーチで、より聴衆を魅了するための実践的な「105のテクニック」を伝授する。					
		コメント	グローバルハイスクールとして、聴衆の心を魅了するテクニックを磨いて下さい。					

99	知る学ぶ	書名	世界で一番美しい元素図鑑	著者	セオドア・グレイ	出版社	創元社
		内容	元素の純粋状態、用途、使用例を美しい写真で掲載した118元素の解説書。科学エッセーや最新の科学的データも満載。				
		コメント	元素のユニークな性質と用途を――身近なものから突飛なものまで――興味の尽きない例を挙げて教えてくれる。見て美しく、読んで楽しいこの本は、単なる元素のガイドブックではない。この世界を作っている物質に対するあなたの見方を大きく変化させる、目から鱗の一冊である。				
100	人生	書名	百年法	著者	山田宗樹	出版社	角川書店
		内容	不老不死が実現した日本。しかし、法律により百年後に死ななければならない――西暦2048年。百年の生と引き替えに、不老処置を受けた人々の100年目の死の強制が目前に迫っていた。その時人々の選択は――!?				
		コメント	生きる期限を決められて、若さを保つのと、今の歳を老いていくのと、どちらの方が幸せなのかを考えさせられました。				

